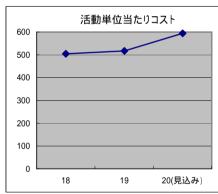
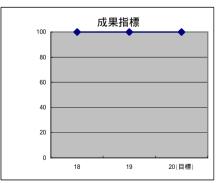
平成 20 年度 事務事業評価シート(平成 19 年度実施事業)

整理番号 市秘05

	事務事業名	広報はびきの発行事業				予	会計款	1	一般会総務費	計	
445	1							-			
総合	まちづくり	5	信頼に基づく市民とと			算科	項	1	総務管理費		
基	の目標(章)	章) 0	日々に坐していたこと	010 7 (3 & 5		目	目	2	広報広聴費		
総合基本計画	施策(節)	2	情報公開と広報・広聴				事業	1	広報		
圖	施策の方向	(1)	作成部署 市長公室秘書課								
関	連する計画等					連	絡先	072	2 958 111	1 内線	3330
事	対象(誰を・	何る	ት)								
業	市民										
業の目的	意図(どう)	り	犬態にしたいのか)								
的	主に市からの)情報	_促 提供をする。								
事業の内容	처										
	根拠法令等	広報	はびきの発行事業発行	規定							
事	事業開始時期	>	昭和 🗌 平成 34 年	月開始	明確	催に	はわか	らな	い 終了	年度 平成	年度
の	事業開始時から の状況変化 駅やスーパーに置いている。										
市民や議会の要望											
	実施手法		直営 🗸 一部委	託 🔲 全部委託			補助金	・臥	加成金 📗] その他()
	委託先	□ 外郭団体委託 名称 ☑ 民間委託					委託内容 広報宅配業務				
			Λ .	18年度 19年度	Ž		20年度			W = 1 W (4 V)	

				18年度	19年度	20年度		
		<u> </u>		(実績)	(実績)	(見込み)		
事	業費	[1]	(千円)	15,318	15,878	18,938		
人	牛費	[2]	7,896	7,896	8,400			
	Π+γlν	正規職員		0.94 人	0.94 人	1.00 人		
	職員	再任用職員		0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	員数	嘱託職員		0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	双人	臨時職員		0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	超:	過勤務(参考)	(時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間		
総	事業	賃費(【1】+【2】)【A】	(千円)	23,214	23,774	27,338		
	財源内訳	国費	(千円)					
		府費	(千円)					
		市債	(千円)					
		その他 (手数料・使用料等)	(千円)	821	1,508	2,454		
		一般財源	(千円)	22,393	22,266	24,884		
活	勆捾	≦標(事業の活動実績)【B】	単位	18年度	19年度	20年度(目標)		
	発	行部数	部	46,000	46,000	46,000		
活動	肋単	位当たりコスト(【A】/【B】	505 円	517 円	594 円			
市目	₹1	人当たりコスト(【A】/人口)	193 円	198 円	228 円			





ſ		<u> </u>	指標名	指標設定の考え方		平成18年度	平成19年	平成20年度	
_±		争業目的の達成度を測る	各家庭配布率(%)	全市民に行き渡っている		100	100	達成率(%)	100
ŀ	叹 果		[式)	率	実績	100	100	100.0%	
	標				目標			達成率(%)	
		指標)	[式)		実績				

	市		市の関与が必要な理由											評価		
	ر ا		1	2	3	リリリノ(美) 4	⇒か必 ≠ 5	を	7	Т	8	9				
	関		•	受益者	最低限		社会的			- F	-	・ 第三者	少女は	条例で定められており、		
	与			が不特	の生活	不安を	経済的	けでは	けでは	t 1	色等を	こも受		市民にあらゆる情報提供		
	رن س			定多数	水準を	解消		負担しき			节内 夕		有	する上で必要		
	必 要 性				確保		対象	れない	足	ť	\発信	<u> </u>	13			
	性															
	視	点		分	析のため	のチェッ	ク点		はい	いいえ	該当なし		分析:	評価の説明		
			市民ニース	ズが高い						П		広報誌は	市政情報を	と広く発信する手段の一		
			市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない									つとして必要不可欠である。				
			社会情勢(の変化に対	応している)			v							
	妥当	当性	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない						V							
			国・府の事	国・府の事業と重複していない												
			事業を休」	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい												
			緊急性が	緊急性が認められる							$\overline{\mathbf{v}}$					
			単位コストが適切である(経年、他市比較など)						V					民間に委託し、最小限の		
			受益者負担の割合は適当である											る。しかし、より分かり アウト、ページ数の研究		
١,			人員を削減する余地がない										る余地はむ			
ケ 析	· · 効率	率性	事業費を削減する余地がない							$ \sqrt{} $				-		
•			簡略化できる方法や手段がない							\checkmark						
評			市の他事業と重複していない						V							
偛	1			(民間委託、 余地がない		ランティア、I	PFIなど)の	活用につい	, 🗆	✓						
			上位の施策(目的)が明確である					V					O迅速に提供すること			
	右≎	边性	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である						V			である。	を埋解して	ていただくうえで、有効		
		W IX	成果を向上させる余地がない						V			CO S.				
			市民の視点にたってサービスが提供されている						V							
			事業の企画、立案に市民が参加している								$\overline{\mathbf{A}}$	市民から	の取材依頼	質がある。		
	協賃	動性	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている						✓							
	בן נגנון	2011	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している						┛		☑					
			事業の実施に市民の参加、協力が得られている						✓		Ш	^ 	·+			
			成果指標の目標値は適正である								全尸配布:	達成されて	ている。			
	達瓦		成果指標の実績値は目標値以上である						12		Ц					
			成果指標は前年度より向上している							Ш	Ш					
		総合	:評価													
			」 拡大∙∶	充実 ☑] 現状維	詩 🗌	方法改善		営化⋅∣	民間	委託	□ 縮小	\	₹止·休止 □ 完了		
	担	評価	の理由													
	当部局評			は、市の の収集・					信する	3手	段と	して必要	不可欠であ	あり、市民のニーズに		
		今後	に向けて	(取組方	針、具体的	りな改善さ	女革案なる	<u>Ľ</u>)								
				成果であ 広報づく			己布も成	果の1つ	である	3.	市政	情報を正確	確に提供す	すること、読みやすく分		